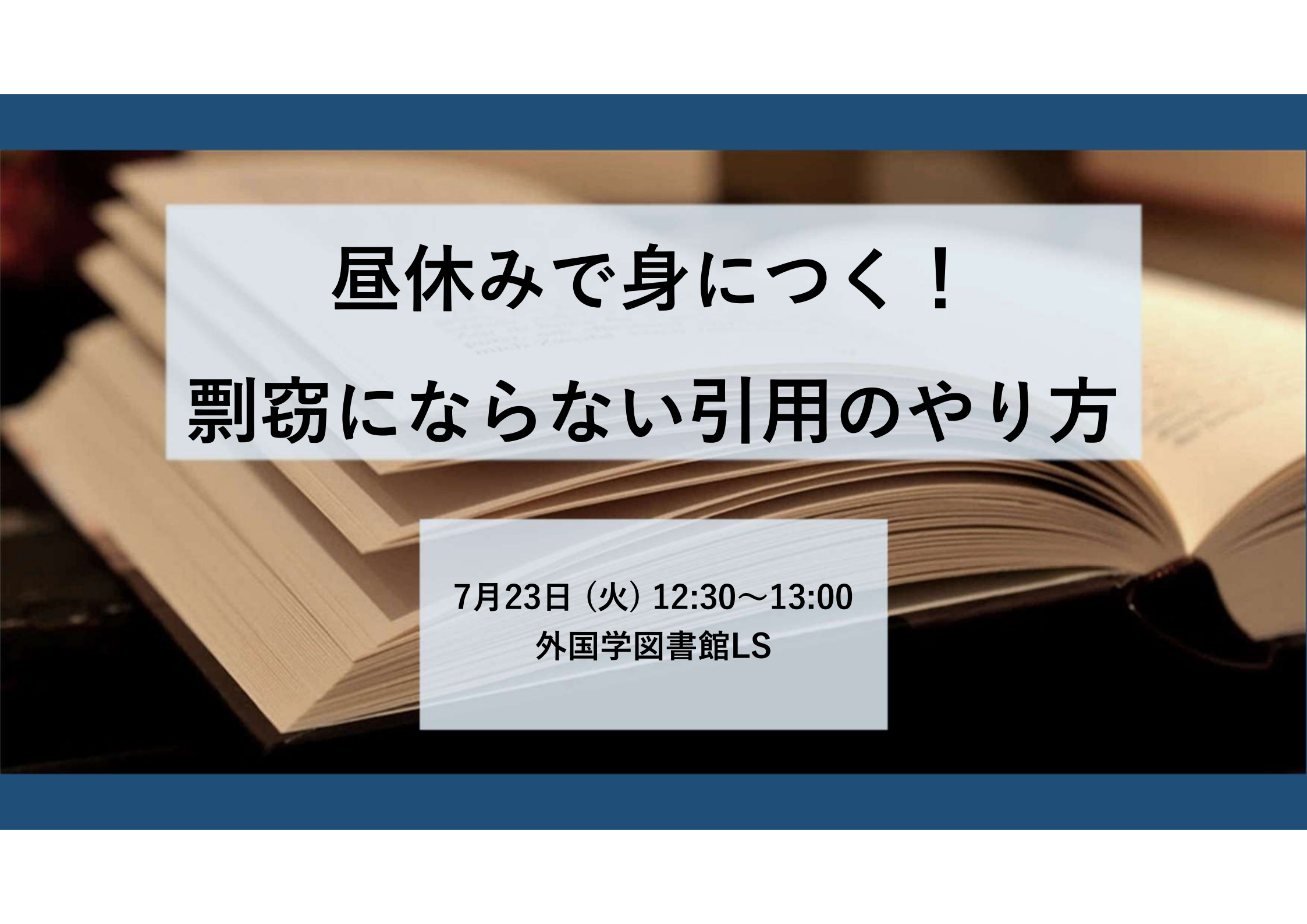




昼休みで身につく！ 剽窃にならない引用のやり方

7月23日（火）12:30～13:00
外国学図書館LS

本日のテーマ

- 引用の基本的なルールを（再）確認する。
- 参考文献の書き方を（再）確認する。

目標

- 状況に応じて適切な引用のやり方を使い分けることができる。
- 日本語文献、外国語文献ともに形式に則った参考文献を付けることができる。

The background of the slide is a photograph of a desk. It shows several sheets of white paper, some of which are slightly crumpled or folded. A black pen lies horizontally across the papers. The lighting is soft, creating gentle shadows. The entire image is framed by a dark blue border at the top and bottom.

引用の技術

引用とは何か？

- 引用とは、自分の文章に他人の書いた文章やデータを情報源として用いること。
- レポートや論文などでは、一般的に了解されている事実、自分の主張や考察を除いて、各情報の典拠を必ず明示する。
- 引用をしない、あるいは引用のやり方を間違えると、（たとえ故意でなかったとしても）剽窃や盗用と疑われることがある。

引用はなぜ必要なのか？

- 自分の主張や考察の客観的な根拠とするため（信頼性の確保）。
- これまでの研究史の中で自分の研究がどこに位置づけられるか、どこにオリジナリティがあるのかを示すため（独創性の確保）。
- 読者が引用された先行研究を探して、内容を確認できるようにするため（検証可能性の確保）。

引用の種類

- **直接引用**

→ 他人の書いた文章を一字一句そのままの形で引用すること。

※日本語文献からの引用であれば「 」を、外国語文献からの引用であれば” ”を引用部分に示す。

- **間接引用**

→ 他人の書いた文章を自分で要約して引用すること。

直接引用

- 基本的には、他人の書いた文章を（たとえ誤字脱字があっても）そのまま書き写す。
- 長文を直接引用する際は、「 」や ” ” で括らずに前後に 1 行ずつのスペースと行頭に全角2文字分のスペースをとる。
- 長文の直接引用があまりにも長い場合は、適宜引用部分に（中略）を挿入する。

間接引用

- 間接引用は、直接引用とは異なり引用部分を「 」や” ”で括らない。
- 文献内の特定の部分だけではなく、文献の内容を簡潔にまとめるときにも有効。
- 内容をしっかりと理解したうえで要約することを心がける。



参考文献の書き方

参考文献とは？

- 参考文献とは、自分の文章において引用した他の人の文章、データのこと。
- 本文中で引用・参照した文献は全て適切な形式で参考文献として挙げる。
- 参考文献は自分が確かに引用したことの裏付けとなる。
また、ゼミ発表などでは聞き手が当該分野の基本的な文献について知ることができる。参考文献があまりにも少ないと、勉強不足を疑われることもある。

参考文献の書き方

- 参考文献の示し方は著者名・発行年順（ハーバード方式）と引用順（バンクーバー方式）の2通りが存在する。
- 著者名・発行年順（ハーバード方式）では、本文での引用部分に（著者名 発行年: 該当ページ）を記述し、文書末尾に著者名・発行年順に列挙する。
- 引用順（バンクーバー方式）では、本文での引用部分に番号を振り、文書末尾に連番順に列挙する。

参考文献の書き方の例（日本語文献）

- **単行本**

著者名（出版年）『書籍名』 出版社.

- **雑誌論文**

著者名（出版年）「論文名」 『雑誌名』 巻数（号数）: 頁数.

- **論集などに所収の論文**

著者名（出版年）「論文名」 編者名（編）『論文集名』
頁数: 出版社.

- **ウェブサイト**

著者名（発表年）「記事（ページ）名」. URL（最終閲覧日）

参考文献の書き方の例（外国語文献）

- **APAスタイル** (The American Psychological Association)
単行本: 著者名. (出版年). **書籍名**. 出版社名.
論文: 著者名. (出版年). 論文名. **雑誌名**, 巻数 (号数), 頁数.
- **MLAスタイル** (Modern Language Association)
単行本: 著者名. **書籍名**. 出版社名, 出版年.
論文: 著者名. “論文名”. **雑誌名**, 巻数, 号数, 出版日, 頁数.
- **シカゴスタイル**
単行本: 著者名. **書籍名**. 出版社の都市: 出版社, 出版年.
論文: 著者名. “論文名.” **雑誌名** 巻数, 号数: 頁数.

最後に

- 参考文献の細かいスタイルは学術分野や媒体ごとに異なっているので、好きな方法を使えば良い。ただし、文書内で必ず統一させること。授業などで指定されている場合は、それに従う。
- 自身が所属する専攻語あるいは研究科が出している紀要論文のスタイルも参考になる。
- 参考文献がきちんと書かれていると、レポートや卒論の評価が少し上がる。時間があれば「論文の書き方」のような本を読んで参考文献だけはバッチリ書けるようにしておくと良い。